

あ・そうかい通信

「見るまえに跳べ」の精神で

平成 30 年度を締めくくる総会が 4 月 2 日、麻生市民交流館やまゆりで行われ、新体制のもとで引き続き開かれた例会で、われらが「あ・そうかい」も「令和」の時代へと入った。



今期の運営委員のみなさん

今期の運営委員

- 会長 出口博一
- 副会長 吉田英雄
- 会計 中山桂子
- 会計補佐 田中喜美子
- 庶務 佐柄木俊郎
- 牧野克己
- 丸岡正廣

新会長就任挨拶

出口博一 でんぐち ひろかず

あ・そうかい会員の皆様。この度、飯塚前会長から引き継ぎ、一年間会長を務めます出口博一です。新運営委員共ども宜しく願います。



出口会長

この会に入会してまだあまり経過せず、ようやく会の様子が分かりかけた状態です。

一生懸命「あ・そうかい通信」を読み返せば、皆様はの事をより良く分かるのではないかと気が付き、第七号

から十六号迄一気に読み下した次第です。

有能なスタッフが揃いました。楽しい会とする努力をいたします。

分科会の活性化と、その他の行事を考えます。

分科会のリーダー、サブリーダーの活躍を期待しますと共に会員皆様の積極的参加を期待する次第です。

あ・そうかい通信を纏めて来られた方々、素晴らしい原稿を投稿されて来られた方々の更なる投稿をお願い申し上げます。

あ・そうかいのホームページへのアクセスは非常に簡単です。「あ・そうかい」で Web 検索をすれば容易にアクセスできます。あらゆる情報と関連団体のホームページへのアクセスが可能です。

会を一貫して指導してこられた事務局の指導を仰ぎながら、広報活動も充実していきたいと思えます。

和気あいあいと、令和元年を過ごしましょう！

魚眼・複眼

年号が平成から令和に変わる。

かつての小淵官房長官が額を掲げた姿を思い出す人も多いだろう。

先日、87歳の高齢者が車を暴走させ親子を死亡させた事件が。そんな折、90歳の祖父が「少しでも世間様に迷惑かけないように」と、認知症を発症する10年以上も前から準備していたという記事を読んだ。「人間老いと我儘になる、周りの制止を振り切って運転して人など憚いたら殺人犯だ」といって、正常な判断ができる70歳で免許を返納。「ボケる前から首にぶら下げる習慣を身につけないとボケた時に家族から言われても多分捨てる」と75歳で自らGPSつき携帯を契約。82歳で満を持してボケる（認知症に）。85歳のある日、家から消える。GPSで確認すると映画館にいて、母が映画館前で確保。今90歳、可愛いボケ老人として見守っているとのこと。自分を冷静に見つめることも大切な。

田島潤の「バ・イ・ク」

自己分析と言うほど大げさではありませんが、どうも一ケ所でジツとして居ることは苦手な様です。仕事を離れて『毎日が日曜日』となつて、することも無くなつたら、と思うとゾツとします。定年を迎える前から退職後の生活に備えて、少しずつ準備を始めました。麻生区のアクティブシニア活動を知つたのも、そんな準備をしている時でした。あ・そうかいのメンバーになり、多くの友人にも恵まれたことは、ほんとうに幸運でした。

子供の頃から地図を眺めることが好きでした。インターネットもGoogleマップも無く、今の様に情報が溢れていない時代、行ったことのない地名を見ては、そこではどんな風景が見られるのだろうか、地元の人々は何の様な暮らしをしているのか、など思いを馳せていました。自由な時間があれば、様々な処へ出かけ

てみたい、と思つていました。が、定年を機に「チャンス到来」と考えたことは当然の成り行きでした。



思い立ったら計画もたてず、目的地も決めずに旅に出る…素敵なことと思いませんか？

ホテル・旅館を予約することも、切符の手配もせずに、気の向くままの旅（旅行ではありませんが）へ出かける、そんな欲求がムクムクと湧き上がってきます。そんな旅をするのに一番相応しい移動手段はバイクでしょう。気の向くままハンドルを向ければ良いのですから。自動二輪車免許を

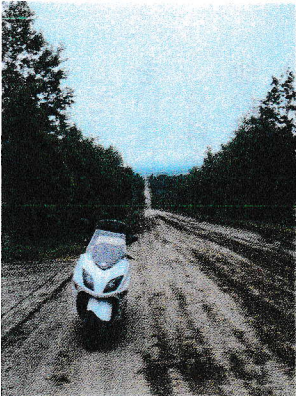
取得できる歳になった高校生の時、本業の勉強などそつちのけで、免許取得の勉強に励みましたので、一発で現在の大型バイクの免許を得ることができました。当時は比較的小型のバイクでの試験でしたが。

自由の身となつて直ちにバイクを購入しました。何十年ぶりで大型バイクを運転するので、慣れるまでは遠くへのツーリングを避けて近郊へ日帰りツーリングで馴らしました。安全第一で。

バイクでのツーリングは様々な良い面があります。季節をいち早く感じられます。春の空気はバイクライフの始まりを伝えてくれます。匂いを感じます。若草の匂い、牧場わきでは牛の匂いなど。狭い道も平気です。地方に行くと、車が二台すれ違えない様な狭い国道もあります。そんな所へも気にせず走つて行けます。駐輪場も見つけやすく、費用も掛からなかったり、安価であったり。ですから、走

っていて景色の良い場所を通りかかったら、バイクを止めてゆっくりと風景を楽しむこともできます。ガソリン代も気になりません。

さすがに真冬には出かける気になりませんが、春から秋にかけて、思い立ったらバイクツーリングに出かけできました。この三年の間に、北は北海道から西は九州北部まで、様々な処へ出かけてほぼ全国を回りました。行った先での美しい風景、地元の人から受けた親切、その地方の名物を肴に地酒を楽しんだこと等々、楽しい思い出が蘇ります。ここではとても書ききれません。行ってみたい場所はまだまだあります。もうしばらくバイクでのツーリング旅を楽しみたいと考えています。



天に続く道（北海道・斜里）

季節の歌

月下独酌 李白

花間一壺酒 独酌無相親
举杯邀明月 对影成三人
月既不解飲 影從隨我身
暫伴月將影 行樂須及春
我歌月徘徊 我舞影零亂
醒時同交歡 醉後各分散
永結無情遊 相期邈雲間

編集後記

月の下で花を前に、詩人は一人で酒を酌み、物思いにふける。月に向かって杯を上げれば、月と自分の影が仲間になった。一人が三人になり、もう孤独ではない。月も影もしよせんは感情のないものだが、まあしばらくはそれを友として良宵をたのしもう。三人で酒を酌み交わし、酔って夢路に入れば別れるまで。遙かな天界の仙界で再会しよう。

あ・そうかいも五年目を迎えた。軌を一にして時代は令和に変わった。この先あ・そうかいも令和もどんな未来が待っているのだろうか。令和はさておきあ・そうかいはみんなでおきあ・そうかい。いっそう楽しくも有意義なサークルへと。いざ！